

第24回 パルシステム神奈川 市民活動応援プログラム 市民活動支援金助成団体一覧

支援団体数：18団体

支援金総額：400万円

パルシステム神奈川は、豊かで元気な地域社会をつくっていくため、
地域の市民活動を応援しています。
第24回市民活動応援プログラム市民活動支援金に応募いただいた69団体のうち、
18団体に支援金助成を決定しました。

(順不同)

No	団体名 所在地 ホームページ	■主な活動分野 ■団体紹介	支援金 額	支援金使途
1	居場所づくり濱なかま 横浜市港北区 ホームページあり	■地域づくり ■この地域には気軽なおしゃべりをするカフェのような場所がありません。居場所とは自然におしゃべりが生まれ言葉を受け止めてもらえる場所。私たちはそんな「町カフェ」を整備し地域に居場所を作ります。しかし地域に居場所はひとつでは足りません。だから学校や商店など地域の拠点とつながりあい連携する町を作ります。	18万円	カフェで利用する備品を準備し、利益の出る町カフェにしていきたい
2	かながわ医療的ケア児者家族会 ～つなぐ～ 横浜市、茅ヶ崎市 ホームページなし	■福祉 ■医療的ケア児者当事者・家族交流会、情報交換・勉強会、ピアサポート活動、特に医療的ケア児を授かったばかりの頃の親御さんへの情報提供、メンタルサポートが出来る仕組みを作るべく、県医療的ケア児支援センターへの交流会・ピアサポート協業提案を行う。	18万円	医療的ケア児者、家族が孤独・不安にならない環境を少しでも広げたい
3	ケアラースカフェ モンステラ 相模原市南区相模台 ホームページあり	■福祉 ■ケアラースカフェと地域の居場所づくりを「住み開き」にて開催。社会処方として高齢者（含認知症の方）・ケアラー～ヤングケアラー・一般の方などが気軽に来られる「ケアラースカフェ」「どなたでもどうぞ」の居場所として、軽食・ランチ・多世代交流(夕食)の提供。どの年代にも、共食の重要性和孤立化の防止を促す。	30万円	「ヤングケアラー」周知・認知に向けて当事者によるセミナーを開催したい
4	一般社団法人 国際交流支援 B.P.Solutions 相模原市 ホームページあり	■平和・人権 ■避難民が自立した生活を行うことができるように就労・学習支援をしていく中で、彼らが安心して生活できるように基盤を整えることの必要性を実感しました。様々な支援の中でも“食”支援は人間が生きていく中で欠かせないものであると考えています。“食”を通して、避難民と日本人との絆を深めたいと考えています。	30万円	日本にいる約50世帯のウクライナ避難民への継続的な食料支援を行いたい
5	NPO法人 さかえ・まごころの会 横浜市栄区 ホームページあり	■福祉 ■障がい者の福祉事業所の利用者と一緒におおた農園で農作業、「やじま工房」で竹細工作り、音楽ユニット「セラピーまごころ」で演奏活動を展開中。工賃や出演料が障がい者の精神/経済面で自立を支援し、同時に引きこもりがちな利用者の継続通所が事業所運営支援となる。販売・発表活動によって地域社会への福祉理解を促進したい。	18万円	農作業や優しい音楽で生まれた心のゆとりを将来の自立につなげたい
6	特定非営利活動法人 スマイルオブキッズ 横浜市南区 ホームページあり	■子どもの健全育成 ■病氣や障がいのある子どもとその家族の経済的、精神的負担を軽減するため、滞在施設の運営、きょうだい児保育、家族の交流の場の提供などの事業を行っている。受益者負担を極力減らして、寄付やボランティアなど地域社会の力で支えられるように、活動を担う人材の育成、広報活動、企業や行政との連携の強化を目指している。	30万円	広報グッズを作成し活動を広く地域の方に知っていただきたい
7	一般社団法人 Thoughtful Gift 神奈川県内 ホームページあり	■医療・健康づくり ■精神障がいにより閉鎖病棟などの精神科病院へ入院する際に必要な物資を無償で提供する活動をしています。寂しさや不安に寄り添う一つのあり方として、そっと寄り添いたいと思っている方々から集まった物を気持ちと一緒に届けています。活動を通して頼ることの大切さや、あなたは独りではないというメッセージを伝えたいです。	30万円	社会はあなたを忘れていないと伝え、社会へ戻りやすい環境を実現したい
8	そがやまみらいプラン 小田原市及び近隣市町村 ホームページなし	■地域づくり ■農産物別プロジェクトで専門農家が講師となり、市民参加で栽培技術や地域農業の歴史等を学び、耕作放棄地の再生活動に取り組み中。5箇所の圃場を再生管理中。2年前新規就農希望者対象に研修制度を設け、2名の研修生が23年秋に農家資格を取得します。畑を引き渡し今後も支援します。また農家向け援農制度も実施中。	30万円	耕作放棄地再生、就農支援、援農組織の充実、特産物利用を行いたい

No	団体名 所在地 ホームページ	■主な活動分野 ■団体紹介	支 援 金 額	支援金使途
9	たまプラーザ・みまもりあいプロジェクト～やさしさのエネルギーチャージ～ 横浜市青葉区 ホームページあり	■地域づくり ■認知症のある方やご家族の生の声を発信し、他の当事者の社会参加の促進や意欲喚起を目指すと共に、認知症のない方にも認知症のある方の社会参加への理解を促進する。認知症のある方やご家族が住み慣れた地域で安心してくらすための環境づくりに必要な認知症の正しい理解を持った地域の応援者を増やす効果があると考え	30万円	認知症の方やそのご家族の生の声を発信するカフェやラジオ配信を行いたい
10	たまり場とよだ運営委員会 横浜市栄区豊田地区 ホームページなし	■地域づくり ■子どもから高齢者、子育て世代、誰でもが気軽に利用でき、居心地の良さを感ぜられる家庭でも学校でもない「みんなの居場所」を提供する事が目的。今後は「みんなの居場所」が小学校区に存在していくのが目標。さらに継続した運営ができるように地域の諸団体と連携して考えていきたい。	10万円	食支援だけでなく他団体との学習や遊びの広場、イベント等を充実させたい
11	地域のお茶の間研究所 さろんどて 茅ヶ崎市 ホームページあり	■地域づくり ■空き家を活用した2ヶ所の居場所では、多世代の居場所や産後ケア、ひとり親カフェ、子ども食堂、10代の居場所、他にパントリーをしている。食を通じた居場所づくりをしてきた。さらに本年夏ころから、本を通じたつながりを作るため「まちライブラリー」の登録をし活動を始め本を話題に地域の人とつながりたい。	12万円	本を通じたつながりを広めかんさんちを地域の居場所として根付かせたい
12	通訳・翻訳グループ カムオン・シェジェ 横浜市瀬谷区 ホームページあり	■子どもの健全育成 ■言葉や文化の壁のある中での子育ては日本人以上に大変です。地域で子育てを経験してきた外国人ママが、今困っている外国ルーツ家族を支える循環型の活動をしています。外国人理解啓発や、多言語情報の発信などを行い、日本人も外国人も同じように安心して子育てできる地域になってほしいと願い活動をしています。	22万円	日本人も外国人も、地域で安心して子育てができるよう交流の場を作りたい
13	西区 BBS 会 神奈川県 ホームページあり	■子どもの健全育成 ■横浜市西区を拠点に、更生保護団体と共に協力しながら、法務省が行う更生保護事業を中心に活動しているほか、非行や社会の適応に悩む、子どもや少年たちと一緒に悩み、一緒に学び、一緒に楽しむボランティア活動を行っています。会員は、司法・福祉・心理・教育などに興味を持つ社会人や学生達で構成されています。	20万円	保護観察対象少年および子どもたちとのグループワーク活動を行いたい
14	NPO 法人 ハピリテーションケア 鎌倉市・逗子市 ホームページあり	■子どもの健全育成 ■2023年6月NPO法人を設立しました。同年11月より鎌倉市で初の多機能型事業所（児童発達支援・放課後デイサービス）を設立するべく、現在は環境を整備しています。活動を通じ、「ともにいきるかながわ憲章」を実現し二度と重度障がい者が殺される事件を起こさないために出来る事を全力で取り組みます。	30万円	障がいのことを知らない人にも“知ってもらおうきっかけ”の場にしたい
15	特定非営利活動法人 ひまわり 横須賀市 ホームページあり	■子どもの健全育成 ■様々な悩みや困りごとを抱えていても「今」を大切に生きて欲しいとの願いから、季節や「タテヨコナナメ」の関係性（異世代間交流）を感じられる行事を取り入れ、子どもを中心とした世帯、自立過程の若者を対象に「ひとりぼっちじゃないよ」を合言葉に、交流の場や生活支援品の提供を行い、孤独孤立の緩和等に尽力している。	18万円	HPを整えたり、関係各所を周るなどして、団体の周知活動を行いたい
16	みうらっこ食堂 三浦市 ホームページなし	■子どもの健全育成 ■こどもの居場所が消滅しつつある中で、「食」は生きる上で誰もが必要とするもので、世代や性別を超えて簡単に体験を共有できるツールです。私たちは、三浦の豊かな食材をふんだんに使った料理作りを通して、こどもたちにとっても家庭・学校とは異なるもう一つの「よりどころ」となる空間を作っていきたいです。	8万円	月一回のこども料理教室に集まる子どもたちを三浦の食でつなげていきたい
17	みんなのいばしょポプケ 相模原市中央区 ホームページあり	■子どもの健全育成 ■スタッフ及びボランティアによって、おおむね週2～5回、子どものための居場所を開所しています。何よりも子ども達がのびのびと自由に過ごすことを大切にしています。また、来所する子どもの要望に応じて、学習支援を行っています。毎回、地域の小学生30名～40名が集い、遊んだり学習をしたりして過ごしています。	28万円	3年目となる来年は、居場所の開所日数を増やしたい
18	特定非営利活動法人 ロクマル 横浜市 ホームページあり	■地域づくり ■高齢男性が職人からスキルや知識を学び、これを活かして地域とつながる場を設ける。地域から期待されることが、やりがいとなり、活動継続の原動力となっていくことを目指す。小さな子供から高齢者まで、パン好きは幅広い。パンじいちゃんのパンを通じ、世代や立場を越えた、地域の人たちの地域交流を生み出していく。	18万円	パンじいちゃんによる「子どもと高齢者のためのパン食堂」の開催をしたい